

主題：信徒

メッセージ 42

彼らの現在——神聖な三一の神聖な分与を団体的に経験する
召会の中で奉仕して、新エルサレムを生かし出し、成し遂げる

聖書：マタイ 18:17-35. I ペテロ 2:25. ヨハネ 13:34-35. ルカ 22:26-27. 啓 2:7, 17. 3:20

I. 召会はキリストから出てきた純粋な産物です——創 2:21-24. ヨハネ 19:34. エペソ 3:4-5.
5:32 :

- A. 召会は「キリスト的」です—— 30-32 節, II コリント 2:10. コロサイ 2:19. 3:10-11.
詩篇第 45 篇。
- B. 召会は「復活的」です——創 18:10-15. 21:1-3, 6-7. 民 17:5. ヨハネ 11:25. ピリピ 3:10.
雅 2:2, 8-9, 14. II コリント 3:5-6, 4:7. エペソ 2:6. 3:4. 5:32. コロサイ 2:2-3. ペ
テロ 1:3.
- C. 召会は「天的」です——エペソ 1:3. 2:6. 5:27. I コリント 15:45-47. ヨハネ 3:6.
ガラテヤ 5:16, 25-26. 6:7-10.

II. 上りの歌として、詩篇第132篇は召会生活を啓示しており、詩篇第133篇は召会生活が
神聖な三一の分与を享受するためであることを啓示しています：

- A. 詩篇第 132 篇は、召会生活における勝利者たちの状況を描写する七つの項目を述べて
います。すなわち、神と共に安息すること、神と共に住むこと（14 節）、満ち足
らせる食物（15 節）、栄光の衣服（16 節）、勝利の角、照らすともし火（17 節）、
輝く冠（18 節）です。
- B. 詩篇第 133 篇は兄弟たちが共に一の中に住んでいる召会生活について語っています。
アロンの頭と彼の衣のすそは、かしらとからだとしてのキリストを表徴します。尊
い油は、油塗り、広がるその霊を表徴し、ヘルモンの露は、下り、浸透するキリス
トの恵みを表徴します。命の祝福の命令は、命の源としての御父を表徴します。

III. 召会の中で生きることは、新エルサレムを生かし出すことです——啓 2:7. 22:1-2 前
半, 14. ヨハネ 6:35, 57. 7:38-39. II ペテロ 1:4 :

- A. 召会の中で生きることは、「主よ、わたしは、あなたのために働くのではなく、あ
なたを享受するために、再び自分自身をあなたにささげます」と毎朝祈ることです
——ピリピ 1:19. 3:3, 8-14. 4:4-7.
- B. 召会の中で生きることは、その霊が諸召会に言われることを聞く耳をもってキリス
トを愛し追い求める者となることです—— I コリント 2:9-16. II コリント 5:14-15.
啓 2:7.
- C. 召会の中で生きることは、神の増し加わりによって召会の中で成長し、すべての事
でかしらであるキリストの中へと成長し込むことです——コロサイ 2:19. エペソ
4:15-16.
- D. 召会の中で生きることは、わたしたちの恵みの霊的な供給、恵みの新しくする供給
のために、日ごとに主を呼吸し、食べ、飲むことです。それは、この恵みが他の人
に分与されることができるとためです——ヨハネ 20:22. 6:35, 57. 7:38-39. エペソ 3:2.

- I ペテロ 4:10-11. 啓 2:7. 22:1-2 前半, 14. イザヤ 55:1-2, 6-7。
- E. 召会の中で生きることは、神の言葉の真理で構成されることであって、それは神を見、神を取り入れ、神を表現するためです—— I テモテ 3:15-16. II テモテ 2:15. マタイ 5:8。
- F. 召会の中で生きることは、互いに愛し合うことです——ヨハネ 13:34-35. I ヨハネ 3:11, 14, 16-17. 4:8, 16。
- G. 召会の中で生きることは、互いに赦し合うことです——マタイ 16:18. 18:17-35. エペソ 4:32. コロサイ 3:13。
- H. 召会の中で生きることは、召会の中で建造されることです——エペソ 2:21-22. 3:16-19。
- I. 召会の中で生きることは、神の家に対して、神の家の中で、神の家のためにキリストによって牧養されることです—— I ペテロ 2:25. 詩篇第 23 篇。

IV. 召会の中で奉仕することは、新エルサレムを成し遂げることです—— I コリント 3:6-9, 12, 16-17. ピリピ 1:19-25. 啓 21:18-21 :

- A. 主は仕える方として、わたしたちのただ中におられます——マルコ 10:45. ルカ 22:26-27. 12:37。
- B. 召会の中で奉仕することは、主からの負担をもって奉仕することです。神に開かれた霊は、彼の負担を受け取るための条件です——マタイ 5:3. 使徒 22:8, 10 :
1. わたしたちは主との親密な交わりの中で、祈ることを通して負担を受け、負担を解き放つことを学ばなければなりません——ルカ 1:53. 詩 27:4. イザヤ 59:16。
 2. 祈りと働きは、分離することはできません。祈りがなければ、働きはありません——コロサイ 4:2. エレミヤ 33:2-3. イザヤ 62:6-7. 使徒 6:4。
 3. 神は、わたしたちに祈る負担を与えるなら、それが発表されることを願っています。負担は発表されてはじめて、解き放たれます——マルコ 7:29. ヘブル 5:7。
 4. もし家で大声で祈ることができないなら、主が行なったように、できる場所を見つけて、わたしたちの負担を発表しましょう。わたしたちは、たとえ小さい声で祈っても、聞こえるように祈るべきです。神は、わたしたちの負担が言い表されることを願っています——マルコ 1:35. ルカ 6:12. 詩 4:1. 5:1-3. 77:1. 102:1. 116:1. 142:1. 雅 2:14。
 5. 預言者が受けた啓示は、彼らが受けた負担でした。負担がなければ、言葉の務めはなく、預言はなく、召会を建造することはありません——イザヤ 1:1. 2:1. 13:1. 15:1. ゼカリヤ 12:1. マラキ 1:1. 使徒 6:4. I コリント 14:4 後半。
 6. わたしたちの負担は神の啓示を人に解き放つことであり、神の啓示は、神がわたしたちに与えた啓示の言葉を通して解き放たれます—— 2:11-16。
 7. わたしたちが神の言葉を供給するとき、わたしたちの関心事は、わたしたちに神の語りかけがあるかどうかであって、わたしたちの語る題目であってはなりません。神の語りかけを得るために、言葉の務めをする人は負担を持たなければなりません——マラキ 2:7。
 8. 言葉の務めをする人は、神の御前での人の状態を顧み、彼らの状態を感じ、神が語りたいことを知らなければなりません——出 28:29-30。

9. 召会を治めることでの、また言葉の務めをすることでの最大の問題は、主からの負担を持たないことです。
 10. 負担がなければ、わたしたちのすべての活動は、死んで効果のないものとなります。負担があれば、わたしたちは生きて繁栄します。
 11. 負担を持つことは、わたしたちを最も多く対処します。負担があるなら、自己は減少し、対処されます。なぜならある事は、わたしたちの負担がわたしたちに行なわせないようにし、ある事は、わたしたちが対処されることを要求し、そうでないと自分の負担を解き放つことができないようにするからです。
 12. わたしたちが義務にしたがって奉仕し、負担をもって奉仕するのでないなら、そのような奉仕は、わたしたちに主の臨在を失わせます——参照、マラキ 3:14. 申 4:25。
 13. わたしたちの奉仕が義務を果たす事柄になるときはいつも、わたしたちの奉仕はすでに墮落しています。
- C. 召会の中で奉仕することは、キリストのからだの建造のために、霊の中で奉仕し、同じ心・思いを伴う組み合わせの中で奉仕することです——ローマ 7:6. ペリピ 3:3. エゼキエル 1:5-14. 使徒 1:14. 2:46. 4:24. 5:12. 15:25 :
1. からだを見ていることの最大のしるしは、わたしたちが単独になることはできないということです。パウロが I コリント第 1 章 1 節でソステネを述べていることは、彼にからだの感覚と組み合わせの霊があったことを見せています。
 2. わたしたちは、他の人を必要とし、他の人がからだの中の組み合わせのために、わたしたちを必要とするという感覚を持たないゆえに、わたしたちの間で、学ぶ人のための霊、助けを必要とする霊を持っている人はごくわずかです——マタイ 5:3。
 3. 互いを必要としない、また交わりを必要としないと感じるのは、最もひどい高ぶりです。それは主にとっても、からだにとっても、最も罪を得ることです。もし他の人との組み合わせに欠けるなら、わたしたちは常に、彼らが行なうことを非難するでしょう。
 4. わたしたちは言葉の務めをし、交わり、祈るとき、人を批評すべきではありません。特に、人と祈るとき、相反する祈りをするのを避けるべきです。
 5. わたしたちは常に、人を尊重し、人と協力し、組み合わせられるという態度を持つ必要があります。わたしたちは自分の分にしたがって人に仕え、人の分を尊重すべきです。なぜなら、両者の分は、主がわたしたちに託しているからです。すべての人はへりくだりを持って、自分の分を他の人の分より高く考えないようにすべきです——ペリピ 2:3-4。
 6. 信徒たちは砕かれ、他の人に適応し、他の人の機能を尊重する学課を学ぶ必要があります。こうしてはじめて、わたしたちはからだの感覚を守り、わたしたちの間で建造を生み出すことができます。
 7. わたしたちはみな同じ魂になって、メッセージを語っているすべての人のために祈り、供給し、支えるべきです。もし主に仕える人が絶えず不調和であって、同じ心・思いの中になければ、敵、聖徒たち、子供たちでさえそれを知るでしょう。

8. わたしたちの語りかけが他の人のより高いという印象を、聖徒たちに与えてはなりません。むしろ、聖徒たちは、わたしたちの語りかけが、他の人の語りかけと調和しているという印象を持つべきです。
 9. ある兄弟が語る時、ある人は批判的になり、心の中で、「わたしはこれをすでに知っている」と言うかもしれません。このような霊は、神の働きを破壊するものです。
 10. 奉仕する者たちの間で建造に欠けるのは、互いに愛に欠けているからです。わたしたちに対する主の言葉と、わたしたちのための主の祈りは、互いに愛し合うことでした——ヨハネ 13:34-35. 15:12, 17。
 11. 奉仕する者たちの間には、特別な愛があるべきです。そのような互いの愛は、わたしたちと主との一から来ます。
 12. 長老と同労者は、互いを牧養し合い、互いに愛し合って、からだの生活の模範となるべきです—— 21:15-17. I ペテロ 1:22。
 13. わたしたちは霊を訓練し解き放って、同じ心・思いで祈ることによって、共にブレディングされる必要があります——マタイ 18:19. 使徒 1:14. 詩歌 614 番。
- D.** 召会の中で奉仕することは、キリストを義と平和と聖霊の中の喜びとして享受することです。このようにキリストに仕える者は、神に喜ばれ、人にも良しと認められます——ローマ 14:17-18。
- E.** 召会の中で奉仕することは、召会を建造することであり、それは、預言する生活を生き、三一の神の流れをもってあふれ流れることによって、神の豊満としての召会を構成するためです——ヨハネ 4:14 後半. 7:38-39. I コリント 14:4 後半, 26. エペソ 3:19。
- F.** 召会の中で奉仕することは、神にしたがって人を牧養することです——I ペテロ 5:1-6。
- G.** 召会の中で奉仕することは、神によって快く与える者として愛されることです——II コリント 9:7。
- V.** 召会の中で生き、奉仕することは、召会の墮落に打ち勝つことであって、神の七倍に強化された神の霊により、キリストを命の木、隠されたマナ、祝宴として食べることを通して、神の永遠のエコノミーを最終的に完成するためです——啓 4:5. 5:6. 2:7, 17. 3:20-21. ゼカリヤ 3:9-10. 4:6。